

給食の時間の指導案

参考例

1. 題材名 食器の正しい置き方を知ろう

2. ねらい ○食文化のひとつとしての食事作法にふれ、食器を正しく置き、気持ちよく食事ができるようにする。

(⑥食文化 ⑤社会性)

3. 準備物 献立表、給食の配膳図(ごはんの献立、パンの献立)

4. 展開

学習活動	指導上の留意点(◎評価)
1 自分が食べている給食を見て、食器の置き方を確認する。	○食器の置き方には、きまりがあることを知っているか問いかける。
2 自分の配膳の仕方が正しいかどうか考える。	○今日の献立の配膳図を見せ、各自の置き方と比べながら考えさせる。(献立表)
3 食器の並べ方には決まりがあることを知る。	○配膳の例を示し、食器の置き方にも決まりがあることを知らせ、そのわけを考えさせる。(配膳図)
	◎食器を正しく置き換えて食事をさせ、食事がしやすいことに気付いたか。 ・汁物は遠くに置くとこぼれやすい。 ・お茶碗やお箸など手に持って食べるものは手前に置く。
4 食器の正しい置き方を覚える。	◎自分の食事の仕方を見直し、食事の前に、自分で食器を正しく置き換えるようにする。

給食の時間における指導

食に関する指導は、一度の体験や指導で目標が達成されるものではなく、繰り返し行うことで理解が深まり習慣化されます。そのため、毎日繰り返し行われる給食時間における指導は、食育を推進する上で極めて重要です。

給食の時間における食に関する指導は、給食指導(準備から後片付けを通して行われる食に関する指導)とともに、教科等で取り上げられた食品や学習したことを学校給食という生きた教材を通して確認させたり、日々の献立を通して、栄養や食品の産地等を学習させるといった様々な角度から指導を行きましょう。